

平成22年度医歯学総合研究科医科学専攻 修士課程論文発表会

下記のとおり修士課程の論文発表会が開催されます。
多数の出席をお願いいたします。

期日：平成23年2月10日(木)

場所：桜ヶ丘共通教育棟 1F 保健学科会議室

8:50 開会のあいさつ 山田専攻長

通番	開始時間	学生氏名	研究分野	研究題目
1	9:00	タケダ ユズル 竹田 譲	人体がん病理学	膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) の病理学的亜分類に関する画像的研究
2	9:25	サダシマ ユウスケ 鮫島 祐介	分子ウイルス感染研究	Phospholipid scramblase 1とEBV Latent membrane protein 1の相互作用の解析
3	9:50	イワナクチ タカシ 岩穴口 孝	医療システム情報学	少子高齢社会の進展と看護ケア需要の変化予測に関する研究
4	10:15	オク ヨシフミ 奥 好史	医療システム情報学	フィルムレスシステム移行にともなう医用画像の利用実態とコストベネフィット分析に関する研究
5	10:40	キョウ デンキョウ 教 傳旭	免疫学	抗葉酸リセプターベータ抗体イムノトキシンによるラット関節炎関節局所投与の治療効果
6	11:05	シオツカ ユウ 塩塚 優	リハビリテーション医学	脳卒中片麻痺上肢への把持力バイオフィードバック訓練の効果について
7	11:30	ナカムラ カヨ 中村 佳代	リハビリテーション医学	脳梗塞に対する運動の効果
8	11:55	ナカヤマ ナオコ 中山 尚子	薬物動態制御学	Kisspeptin の摂食に対する影響
9	13:00	シンカフ ジュンペイ 新川 純平	薬物動態制御学	中枢神経への高脂肪食の影響に関与する受容体の解析
10	13:25	ツブキ タケロー 楠木 丈郎	薬物動態制御学	胚性癌腫細胞の分化にともなう細胞接着分子を中心とした分子マーカーの発現の機序について
11	13:50	ハマベ アヤカ 濱邊 絢香	消化器疾患・生活習慣病学	Impact of cigarette smoking on onset of nonalcoholic fatty liver disease: a10-year longitudinal study (喫煙は非アルコール性脂肪性疾患の発症に関連する)
12	14:15	タカヤマ アキコ 高山 明子	薬物動態制御学	癌特異的増殖型アデノウイルス腫瘍治療の研究
13	14:40	カノ マサユキ 神野 真幸	薬物動態制御学	ヒトグリオーマにおけるWntシグナルの作用機序解析
14	15:05	ガンジツダ シラベ 元日田 調	国際離島医療学	鹿児島県あまみ島嶼地域における乳がん死亡率の動向と乳がん検診に関する研究
15	15:30	ヨシモリ リナ 吉盛 利奈	抗ウイルス化学療法研究	ATL発症リスク診断法に関する研究
16	15:55	ワダ タダヒサ 和田 忠久	遺伝子治療・再生医学	癌細胞および多能性幹細胞における癌特異的増殖型アデノウイルスベクターの効果について
17	16:20	スエヒロ ヨシコ 末廣 淑子	薬物動態制御学	脳形成過程におけるAmyloid precursor protein (APP) の機能解析
18	16:45	ヤマグチ サオリ 山口 沙織	薬物動態制御学	グリオーマ細胞におけるContactin associated protein (Caspr) 1の機能解析
19	17:10	タグチ ミユキ 田口 深雪	薬物動態制御学	抗がん薬耐性細胞におけるマイクロRNAの発現とその役割
20	17:35	マタキ ヒロノリ 俣木 博徳	薬物動態制御学	抗癌剤で誘導されるvaultの発現亢進機序と抗癌剤耐性機構の解明
21	18:00	オニマル タカヒロ 鬼丸 貴裕	薬物動態制御学	脳形成過程におけるコンタクチン関連蛋白質 (Caspr) 4の機能解析
22	18:25	シントモ マナ 新塘 麻奈	薬物動態制御学	5-fluorouracilの血中濃度および遺伝子診断に基づいた投与量に関する検討

18:50 閉会のあいさつ 竹内部会長

※当日の諸事情により発表順を変更する場合があります。